

千葉市市制100周年記念協議会設立総会及び第1回協議会 議事概要

1 日時

令和元年11月19日（火） 14:00～15:30

2 場所

ホテルポートプラザちば 2階「ルビー」

3 出席者

別添「出席者名簿」のとおり

4 議題

別添「次第」のとおり

5 議事の経過

- (1) 千葉市市制100周年協議会設立総会において、出席者全員の賛同により協議会設立を承認。
- (2) 第1回協議会、議案第1号において、副会長及び監事を会員からの推薦を経て選出。
- (3) 第1回協議会、議案第2号から第5号について、事務局からの説明後、原案を承認。
- (4) 意見交換を実施。

6 千葉市市制100周年記念協議会設立総会 議事

【川口総合政策局長】

まず初めに、本会の発起人であります千葉市長の熊谷俊人より、ご挨拶を申し上げます。

よろしくお願いいたします。

【千葉市（熊谷市長）】

皆様、こんにちは。本日は、大変お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

皆様もご承知のとおり、本市は令和3年1月1日に市制100周年を迎えます。

千葉市は千葉県で最初に市となった自治体であり、100周年は、我々行政のみならず、市民や企業、関係諸団体などにとっても大変大きな節目であると考えます。こうした100年のあゆみは、多くの先人の方々が自身のみならずまちの発展のため、時には苦難を乗り越え、知恵を絞り努力を積み重ねてこられた100年です。

例えば、市民の力で遺跡を開発から守った加曽利貝塚の保護運動、約2,000年の時を超え、世界最古の花「オオガハス」を発掘し咲かせた大賀博士と地域の方々、本市と首都圏の発展のため、遠浅の海辺に新たなまちと産業を築いた公用水面埋立てなど、本市の100年のあゆみの中には、千葉市だけでなく首都圏の発展や日本に貢献してきたものも数多くあると考えています。

これらの多くの先人達が築き上げた礎があったからこそ、市制施行時は人口約3万4千人であった一つのまちは、約98万人が暮らす大都市に発展し、政令指定都市・千葉市としての今がございます。

市制100周年に際しては、この都市としての成長のあゆみを振り返り、本市が日本の中で果たしてきた

役割やその価値を見つめ直し、これを如何に未来へ継承、発展させていくのかを考え、行動につなげていく機会としていきたいと考えております。

そして、行政だけではなく、市民や企業、団体など千葉市にかかわるすべての主体が共有し、まちづくりについて共に考え、行動する機会といたしたいと思います。

本日この趣旨にご賛同いただきお集まりいただいた皆様は、それぞれの分野のトップランナーとしてご活躍であり、その活動の中で、100 周年の機運醸成に取り組んでいただくとともに、都市のあゆみを知り、未来について考え、行動する機会を、我々とともに創出していただきたいと考えています。

本日設立する協議会では、皆様方のお力をお借りして、市制 100 周年という誰もが共有できる時代の節目を、未来のまちづくりへ力強く踏み出す起点としていきたいと思っておりますので、お力添えをお願いして私の挨拶とさせていただきます。

【川口総合政策局長】

～事務局から出席者名簿に沿って名前を讀上げ、順次、出席者を紹介～

それでは、只今より、千葉市市制 100 周年記念協議会設立総会を開会いたします。

では、議事に移らせていただきます。

なお、協議会が設立するまでの間の議事進行につきましては、熊谷市長が暫定議長を務めさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【出席者】

～異議なし～

【千葉市（熊谷市長）】

千葉市長の熊谷俊人でございます。

では、しばらくの間、会議の進行を務めさせていただきます。

それでは、議案第 1 号「千葉市市制 100 周年記念協議会の設立について」及び、議案第 2 号「千葉市市制 100 周年記念協議会会則（案）」を事務局から一括して説明をお願いいたします。

【藤代総合政策部長】

～議案第 1・2 号を資料に沿って説明～

【千葉市（熊谷市長）】

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、ご質問・疑問点はございますか。

それではないようですので、協議会の主旨にご賛同いただき、千葉市市制 100 周年記念協議会の設立と協議会会則をご承認いただけますでしょうか。

よろしければ、拍手をもってご承認いただきたいと思います。

【出席者】

～拍手～

【千葉市（熊谷市長）】

ありがとうございます。

只今の議案第 1 号及び第 2 号の承認を持ちまして、千葉市市制 100 周年記念協議会の設立とさせていただきます。

予定の議事を終えましたので、一旦事務局に進行を戻します。

【川口総合政策局長】

ありがとうございました。

以上を持ちまして、協議会設立総会を閉会とさせていただきます。

7 第1回千葉市市制100周年協議会 議事

【川口総合政策局長】

続きまして、第1回千葉市市制100周年記念協議会を開会させていただきます。

それでは、協議会会則第7条において、会長は千葉市長をもって充てること、第9条において、会長は会議を主宰することとされておりますので、議事進行につきましては、熊谷市長にお願いいたします。

【千葉市（熊谷市長）】

協議会会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、議案第1号「千葉市市制100周年記念協議会役員の選任」について、事務局から説明をお願いします。

【藤代総合政策部長】

～議案第1号の資料に基づいて説明～

【千葉市（熊谷市長）】

副会長・監事は会長の選任となっておりますが、どなたか立候補、または推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

【社会福祉協議会（田辺会長）】

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会の田辺と申します。副会長と監事を推薦させていただきます。

まず副会長ですが、千葉市地域を代表する総合経済団体として活躍されている千葉商工会議所と、市民総参加のもと、美しい千葉市をつくるため、千葉の親子三代夏祭りなど精力的な活動をされている千葉市を美しくする会の2団体を推薦いたします。

また、監事には、民間事業者・市民の団体から「千葉市商店街連合会」と「千葉市町内自治会連絡協議会」の2団体を推薦いたします。

【千葉市（熊谷市長）】

ありがとうございます。

ただいま、社会福祉協議会の田辺会長から副会長と監事の推薦をいただきました。私としても、推薦いただいた4団体に是非ともお願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。よろしければ、拍手をもってご承認いただきたいと思います。

【会員一同】

～拍手～

【千葉市（熊谷市長）】

ありがとうございます。

副会長・監事に選任されました4団体の皆様、よろしくお願いいたします。

【千葉市（熊谷市長）】

それでは、議事を進めさせていただきます。

議案第2号「千葉市市制100周年記念事業推進プラン（案）」

議案第3号「千葉市市制100周年記念協議会事務局規定（案）」

議案第4号「千葉市市制100周年記念ロゴマーク及びキャッチフレーズ並びに100周年の冠使用に関する要綱」

この3議案について、事務局から一括して説明をお願いします。

【藤代総合政策部長】

～議案第2・3・4号の資料に基づいて説明～

【千葉市（熊谷市長）】

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、ご質問・疑問点等ありますでしょうか。

ないようであれば、議案第2号、3号、4号について、それぞれ決定してよろしいでしょうか。

【会員一同】

～異議なし・拍手・決定～

【千葉市（熊谷市長）】

続きまして、議案第5号「千葉市市制100周年記念協議会 事業計画（案）」について、事務局から説明をお願いします。

【藤代総合政策部長】

～議案第5号の資料を基に説明～

【千葉市（熊谷市長）】

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、ご質問・疑問点等ありますでしょうか。

【株式会社千葉日報社（大澤 代表取締役社長）】

これまで説明いただいたところによると。市として特定の日を選んで目立つようなイベントを行うのではなく、2年間かけてじっくりと市民の皆さんにまちのことを考えてもらう、行動してもらうという100周年記念事業としていくことか、ということが1点、令和3年に予定されている「まち博」というのは、こういったものなのかの2点を教えていただきますようお願いいたします。

【千葉市（熊谷市長）】

それでは、事務局から回答をお願いします。

【藤代総合政策部長】

まず、1点目についてお答えします。

大きな事業を行わないのかといったご質問ですが、これからもう少し検討して参ります。

まずは、プレ期間において機運の醸成を図るような事業を積み重ねてまいりたいと考えております。その中で、本期間にあたる記念期間につきましては、もう少し時間をいただきながら検討して参ります。しかしながら、時間もさほどあるものではないので、しっかりと考えて次回以降にご提案させていただきます。

【市倉都市アイデンティティ推進課長】

都市アイデンティティ推進課でございます。2点目のまち博について、ご説明いたします。先ほどご説明いたしました推進プランの本編5ページの後にある、別冊の1ページをご覧ください。

100 周年記念協議会主催事業というところにあるイラストは、まち博をイメージしたものです。まず、実施期間としては、記念期間になります令和 3 年の春・夏と秋の 2 つのシーズンに区切りまして、市内にある大学や様々な団体・企業など、この期間に一緒に取り組んでくれる方々を募集して、この情報を一冊の冊子あるいはホームページに掲載をして、まち全体をまちの博覧会のように見立てていくことを考えています。説明は以上です。

【株式会社千葉日報社（大澤 代表取締役社長）】

イラストを見てもあまりわからないので質問したのだが、おいおい分かってくるかと思います。

【千葉市（熊谷市長）】

私としても、これからまち博をどういったものにしていくのかは詰めていくところですが、他の都市でも事例があるようです。地域それぞれが行うイベントや取組みを、できるだけ同じ趣旨のものを括って集中的に見せていく。そういう意味では、立て付けが問われてくると考えています。

また、何か 1 つ節目のイベントということであれば、市制施行の 1 月 1 日に一番近い、1 月の初めに商工会議所との共催で毎年行われている賀詞交歓会があります。ここが 100 周年を迎えて最初の公式な行事になるので、そういったところに加えていくことも我々としては考えています。

大澤さんにも是非お知恵をいただきながら進めていきたいと思っています。

他にはございますか。よろしければ、議案第 5 号について決定としてよろしいでしょうか。

【会員一同】

～異議なし・拍手・決定～

【千葉市（熊谷市長）】

続きまして、意見交換に移りたいと思います。

本日は第 1 回目の協議会でもありますこと、折角、千葉市を支える団体・企業の代表者の方々にお集まりいただいていますことから、全員の皆様にご発言をいただきたいと思っています。

本日の議事に絡めてでもよいですし、議事に関わらず千葉市市制 100 周年へ対する思いや提案などをお聞かせいただければと思います。

【千葉県警察千葉市警察部（赤石 部長）】

私どもとしては千葉市内の各警察署と連携を図りながら、100 周年を記念して様々行われるであろう、行事やイベントを安全かつ円滑に実施できるように努力していきたいと考えております。

【千葉市（熊谷市長）】

お世話になります。よろしくお願いします。

【国立大学法人千葉大学（徳久 学長）】

周年行事では、記念誌や式典をやるもので、今回の説明にはあまりなかったが、推進プランのスケジュールには盛り込まれている。記念誌や式典はしっかりやるべきだと思います。なお、日取りは早めに決めて知らせていただきますようお願いします。

【一般社団法人千葉県経営者協会（小堀 事務局長）】

千葉県経営者協会は県内で 12 支部ありますが、千葉市を含む千葉支部は大変多くの会員いるので、会員への周知などを徹底したいと思っています。

また、これまでの 100 年よりもこれからの 100 年は様々な変化のスピードが遥かに速いと思います。是

非、我々だけでなく、若い方々の意見も取り入れるようなことができればよいと思います。

【千葉市（熊谷市長）】

この市制 100 周年にあたっては、それぞれの企業や団体が自らのこれまで振り返り、これからの 100 年を考える機会としてほしいと思っています。例えば、J F E スチールさんにお話をしていることとしては、「鉄」の 100 年は何だったのか、これから「鉄」はどうなっていくのか、そういったものを J F E さんが協力いただけるのであれば、是非やっていただいて、改めて市民の皆さんが「鉄」のこれまでを振り返り、千葉市との関係を知り、これからの J F E の鉄のことを考えていただけるとよいと思います。

そういった取り組みを、各企業や団体がつなげていくことによって、先ほどあった「まち博」などにも深みが出てくると思っています。

【千葉県経済同友会（松木 事務局次長）】

経済同友会は今年 45 周年を迎え、記念提言として 30 年後の千葉県といった将来像をまとめたところです。その中で、千葉県のブランド力向上といったことを盛り込んでいます。100 周年の取り組みは、千葉県内の第一の都市である千葉市のブランドを高めることにもつながると思うので、会員の皆様と協力して取り組んでいきたいと思っています。

【千葉市商店街連合会（伊勢田 会長）】

さっそく、本日の協議会が終わったら、役員会議を開きたいと思います。商店街が通年で行っている行事などを 100 周年と一緒にやれないかといったことなどを、役員と相談しながら取り組んでいきたいと思っています。

【公益社団法人千葉市観光協会（飯沼 会長）】

花火大会が行われる海辺では、特に冬場に東京湾超しに富士山を眺めることができます。しかし、まだ見たことがない市民も多くいらっしゃいます。また、お手元のリーフレットの絵には、亥鼻公園の桜が描かれているが、残念ながら現在は老木になってしまい、あまり花が咲かなくなっているみたいです。千葉開府 900 年に向けて、多くの桜を植えていきたいと考えているので、できるだけ多くの市民にそういった取り組みに参加していただきたいと思っています。

【千葉市（熊谷市長）】

飯沼会長、ありがとうございます。まさに、そういった事業との連動ができればと考えています。100 を使って、100 本とか。数字のゴロ合わせが組みしやすいので、市内部にも 100 の数字に掛け合わせた取り組みを考えるよう、言っているところでもあります。是非、我々、千葉市も協力させていただきたいと思っています。

【千葉市町内自治会連絡協議会（小川 会長）】

市制 100 周年といっても、まだまだ市民レベルでは浸透していない。まずは、区連协会会长や地区連長の役員などに、知らせることから始めて頑張っていきたいと思っています。

【千葉みらい農業協同組合（林 組合長理事）】

近年、自然を疎かにする傾向が感じられます。千葉市は自然に大変恵まれている。この 100 周年という契機に、改めて自然を尊く思っていたきたいと思っています。また、災害時に避難所などとして利用できる所なども、イベントなどで見つめ直してもらいたいと思っています。

【千葉テレビ放送株式会社（篠塚 代表取締役社長）】

約 2 年というサイクルですね。まだまだ、ファジーな部分があるが、これから段階的に協議されていく

のだと思います。私ども報道機関としては、情報発信をしっかりやっていきます。また、地元の放送局として、特番などを作らせてもらうのもよいかと考えています。

【株式会社千葉日報社（大澤 代表取締役社長）】

100年、1世紀、とても大きな重い節目であると思います。だが、あまり100にこだわり過ぎるのではなく、新たな節目として一人でも多くの市民の方に、特に若い方に、この100周年を機に、自分の住むまちの良さを知り、これからのまちを考える機会としてもらいたいと思います。我々も、協力できることに協力していきます。

【千葉市（熊谷市長）】

ありがとうございます。我々としても、できる限り、みんなで未来を語り合って、主体的に参画するといった機会としていきたいと考えています。

【日本放送協会千葉放送局（新保 副部長）】

千葉地域の放送局として、きっちりと情報を発信していき、この100周年という大きな節目の盛り上げに貢献できるようにしていきたいと考えていますので、引き続きよろしくお願いします。

【株式会社バイエフエム（久保 代表取締役社長）】

メディアとして、様々な事業の告知、広報面を期待されていると考えているので、そこはしっかりやっていきたいと思います。これから2年間の間に数多くの企業や団体がそれぞれの立場で、どのように100周年やまち博に参画していけるかが、盛り上げに重要だと感じました。

千葉市には白砂になった海辺や特別史跡の加曽利貝塚、大賀ハスの千葉公園などがあるので、このような千葉市ならではの場所を活かして事業をやっていくとよいと思います。

【東日本旅客鉄道株式会社千葉支社（西田 千葉支社長）】

災害に強い鉄道、大規模イベントを安全安定運送で支えられる鉄道を作り上げていきたいと思っております。加えて、千葉駅前の開発などのまちづくりは、まだ道半ばだと考えています。これからも、地元商店街の方々などと連携を深めていながら、より良いまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

併せて、まちづくりの観点でいうと、人手不足の中で、市民の足をどう確保していくかという課題に対して、全ての交通を連携させていく都市型MaaS（Mobility as a Service）に、鉄道という枠を超えて、行政、市民の皆様と研究してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

【千葉市（熊谷市長）】

ありがとうございます。モビリティの歴史は、まさにまちの歴史そのものだと思いますので、その知見でお力添えをお願いしたいと思います。

【公益財団法人千葉市教育振興財団（橘 常務理事兼事務局長）】

千葉市は昔から、60周年・70周年・80周年と全て動画でしっかりと記録を残しています。そして、今回は100周年ですので、市長におかれましては、この100周年の際にもしっかりと予算を付けていただき、動画で歴史を残していただきたい。記念誌と併せて動画でも記録が残ると後々、役に立つと思いますので、よろしくお願いいたします。

【千葉市（熊谷市長）】

会員の中には、専門の方もいらっしゃるので、よろしくお願いします。

【千葉市青少年育成委員会（玉山 会長）】

青少年育成委員会では、毎年、夏と冬に学区をパトロールし、ちばレポを使って報告をしています。こ

の仕組みを有効活用して、より充実した活動にしていきたいと考えています。また、こどもナビやこどもどこでもカフェなどのこども施策をより充実させていただいて、こどもたちを明るい未来へと導いてもらえればと思います。

【千葉市（熊谷市長）】

ありがとうございます。子育て関係の政策をしっかりと充実させていく節目としていきたいと思います。

【社会福祉法人千葉市社会福祉協議会（田辺 会長）】

社会福祉協議会には、住民が自主的に福祉活動に取り組む、地区部会があり、ほぼ千葉市全域をカバーしています。また、赤い羽根募金や歳末助け合い募金等の協働募金会の千葉市会も担っています。さらには、赤十字奉仕団などの事務局も担っています。このように、社会福祉協議会は様々な福祉活動に携わっています。それとともに、多くの福祉関係者と連携しています。こういった関係性を活かして、100周年のPRであるとか、関連グッズの企画や協力などに取り組んでいきたいと思います。

また、福祉関係者の皆様の多くは、千葉市で暮らしています。この100周年をいい機会として、千葉市のことを深く考えていただく機会として、千葉市への愛着や理解につなげ、今後の活動に生かしてもらいたいと考えています。

【千葉市民生委員児童委員協議会（林 会長）】

民生委員は、現在1,502名の定員です。若干の欠員はあるものの、市内にくまなく配置されています。

日々、高齢者の問題、児童虐待の問題、障害者に寄り添うといった活動に取り組んでいます。しかしながら、段々と立ち行かなくなっていると感じています。今後、町内自治会連絡協議会や社協地区部会、青少年育成委員会等の地域の関係団体と連携を深めていきたいと思います。なお、私どもは12月1日が一斉改選ですので、速やかにこの100周年の話を持ち帰り、中断のないように引き継いでまいりたいと思います。

【公益財団法人千葉市スポーツ協会（石井 理事長）】

約40のスポーツ団体を所管統括しています。また、大会レベルでは、市民レベルから全国・世界のレベルまでの大会を開催している実績がございます。スポーツというコンテンツは、100周年とうまくマッチングできるのではないかと考えています。また、海洋スポーツも所管しております。先ほど、お話がありましたが、市民の中にはまだまだ千葉市の海の魅力を知らない方もいらっしゃると思いますので、この100周年を機に、海でのイベントなどを考えていきたいと思っています。

【千葉市文化連盟（藤代 会長）】

文化連盟としても加盟団体それぞれが知恵を絞り、趣向を凝らし、100周年に相応しい企画・イベントを考えたいと思います。

また、千葉市は千葉町から始まり、多くの旧町村と合併して、今の千葉市があるわけです。

千葉市の中には、昔の旧町村があるわけで、温故知新ではないが、この100周年を機に、改めて旧町村のことを考えてみる。旧町村単位で、何かできないかといったことも考えるとよいのではないかと思います。

【千葉市（熊谷市長）】

ありがとうございます。

そういったローカルな地域色を、歴史を振り返る中でどう出していくかといったことも大切なことだと

思います。

【千葉市（熊谷市長）】

最後に、両副会長からもご意見をお願いします。

では、商工会議所の河野常務からお願いします。

【千葉商工会議所（河野 常務理事）】

商工会議所は、全所をあげて協力します。

商工会議所は、来年 2020 年に創立 80 周年を迎えることもあり、今月末の 11 月 30 日から来年 3 月 22 日まで、80 周年事業として YORU MACHI（ヨルマチ）事業を実施していきます。

会議所としては、これまで行ってきたイルミネーションに加えて、スケートリンクを設置するなど、千葉都心の夜の空間を非日常的な空間にする方向で取り組んでいます。会議所としては、この事業を継続していきたいと考えて、ここからはお願いになるが、この事業が成功してより拡大していけるように、この協議会においても、色々と議論していただき事業拡大につなげていければと考えているので、よろしくお願いします。

【千葉市（熊谷市長）】

YORU MACHI（ヨルマチ）事業は、千葉市としても夜のまちの経済・文化活動の振興として取り組んでいるナイトタイムエコノミーとして支援している事業ですので、定着していけるよう議論していきたいと思っています。

【千葉市を美しくする会（飯森 会長）】

美しくする会は、東京オリンピックの前年の昭和 38 年に「美しい千葉市をつくろう」といったスローガンの基に、美しくする会がつくられ、昭和 51 年に開府 850 年記念として親子三代夏祭りが始まりました。親子三代夏祭りのよいところは、市民が参加し、市民の手で行う祭りであることだと思っています。今年、第 44 回目を迎え、来年以降 45・46 回目を迎える中で、市制 100 周年を迎えることとなり、非常に意義深く感じています。また、数年後の千葉開府 900 年に向けても準備を進めているところであります。美しくする会としても、千葉市をはじめとする皆様のお力を借りながら、より一層頑張って、より素晴らしい祭りとなるように取り組んでまいります。

また、元教員の立場から言うと、各地区に歴史と伝統を持った学校があるので、地域を掘り起こすような事業を教育委員会とも協力しながら取り組むことが地域おこしにつながると考えます。

いずれにしても、千葉市に住んでよかったと思えるような、誇れるまちづくりにみんなで取り組んでいけるとよいと思っています。

【千葉市（熊谷市長）】

皆さま、多様なご意見をありがとうございました。

100 年を振り返る中で、それぞれの地域や団体の特徴的な歴史を市民にしっかり知っていただく。そして、大切なことは、歴史を振り返ることを単に懐古的なことにするのではなく、そこから千葉市の特徴、他市にはない魅力、そういったものを見つけ出して、それを次に向かってみんなで磨いていく、未来への羅針盤を見つけることだと思っています。

温故知新の精神で歴史を振り返り、これからのまちづくり、ひとづくり、ビジョンを市民全員で共有する大事な機会としていきたいと考えています。

そして、何人かの方から話がありましたが、2021 年の 5 年後の 2026 年に開府 900 年を迎えます。この

ような大きな節目が重なる時期に、市民の皆様のまちへの意識を高めていきたいと考えております。

【千葉市（熊谷市長）】

皆様、多様なご意見をありがとうございました。

以上をもちまして、本日の議事を全て終えることが出来ました。円滑な議事運営にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本日より、協議会会員の皆様とともに、市民・企業・団体など千葉市に関わる全ての人々と市制 100 周年記念事業などに取り組んでまいりますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、事務局に進行をお戻しします。

【川口総合政策局長】

皆様、ありがとうございました。

以上をもちまして、第 1 回千葉市市制 100 周年記念協議会を閉会といたします。

来年 1 月からのプレ期間スタートに向けて、本日の協議会は、まさにキックオフとなります。2 年間にわたる市制 100 周年の記念期間、どうぞよろしくお願いいたします。

次回は、年度が明けて令和 2 年 4 月から 5 月頃の開催を予定しております。日時や場所などの詳細は、追ってご連絡差し上げます。

本日は、ありがとうございました。